

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-254342

(43)Date of publication of application : 25.09.1998

(51)Int.Cl.

G09B 9/00  
A63F 9/22  
H04N 5/645

(21)Application number : 09-092691

(71)Applicant : JALECO:KK

(22)Date of filing : 06.03.1997

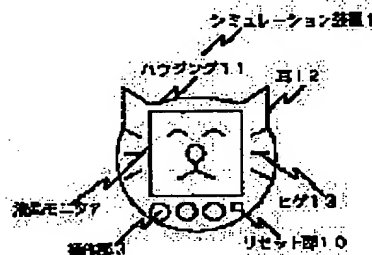
(72)Inventor : KANAZAWA YOSHIAKI

## (54) PORTABLE SIMULATION DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce the size of a display section and to reduce the price of a simulation device.

SOLUTION: This simulation device 1, in which an animal is simulatively raised, is provided with a housing 11 that forms the device 1 and a display section 2. The housing 11 forms the head section of the animal or the entire body. The section 2 displays the face section of the animal. Thus, the housing 11 and the section 2 express the head section of the animal or the entire body.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-254342

(43) 公開日 平成10年(1998) 9月25日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>

識別記号

F I

G 0 9 B 9/00

G 0 9 B 9/00

Z

A 6 3 F 9/22

A 6 3 F 9/22

A

H 0 4 N 5/645

H 0 4 N 5/645

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願平9-92691

(22) 出願日

平成9年(1997) 3月6日

(71) 出願人 591217137

株式会社ジャレコ

東京都世田谷区用賀2丁目19番7号

(72) 発明者 金沢 義秋

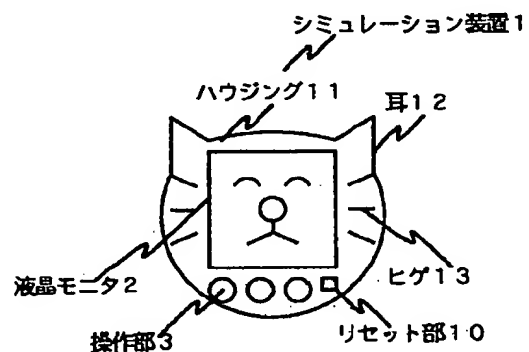
東京都世田谷区用賀2丁目19番7号 株式会社ジャレコ内

(54) 【発明の名称】 携帯用シミュレーション装置

(57) 【要約】

【目的】 表示部は比較的小さなもので足り、シミュレーション装置の価格を低く押さえることができる。

【構成】 生物を飼育または育成するシミュレーション装置において、前記シミュレーション装置を形成するハウジングと、前記シミュレーション装置に設けられた表示部とを有し、前記ハウジングは前記生物の頭部または体全体を形成し、かつ、前記表示部は前記生物の顔部分を表示することにより、前記ハウジングと前記表示部により、前記生物の頭部または体全体を完成して表現することを特徴とするシミュレーション装置を提供する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】生物を飼育または育成するシミュレーション装置において、前記シミュレーション装置を形成するハウジングと、前記シミュレーション装置に設けられた表示部とを有し、前記ハウジングは前記生物の頭部または体全体を形成し、かつ、前記表示部は前記生物の顔部分を表示することにより、前記ハウジングと前記表示部により、前記生物の頭部または体全体を完成して表現することの特徴とするシミュレーション装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、生物を飼育または育成するシミュレーション装置に関するものである。

## 【0002】

【従来技術】従来のシミュレーション装置においては、例えば、馬の育成シミュレーション装置が提唱されていた。この装置によれば、画面に馬が常時表示され、所定時間が経過すると、ユーザが餌を与える旨の操作を行う。すると、画面に表示されている馬は徐々に大きくなり、ユーザは、現実の馬を育成するのと同様の体験を得ることができる。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記従来のシミュレーション装置において、表示部に生物の頭部または体全体を詳細に表示するためには、表示部全体を大きくしなければならず、その結果、シミュレーション装置が全体として高価なものになってしまうという課題があった。一方、シミュレーション装置の価格を低く抑えるために表示部を小さなものにすると、表示する生物の頭部または体全体を簡略化して表示せざるを得ず、シミュレーション装置自体の趣向性が欠けてしまうという課題があった。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記の課題を解決するために提唱されたものであり、生物を飼育または育成するシミュレーション装置において、前記シミュレーション装置を形成するハウジングと、前記シミュレーション装置に設けられた表示部とを有し、前記ハウジングは前記生物の頭部または体全体を形成し、かつ、前記表示部は前記生物の顔部分を表示することにより、前記ハウジングと前記表示部により、前記生物の頭部または体全体を完成して表現することの特徴とするシミュレーション装置を提供する。

## 【0005】

【作用】生物を飼育または育成するシミュレーション装置において、前記シミュレーション装置を形成するハウジングと、前記シミュレーション装置に設けられた表示部とを有し、前記ハウジングは前記生物の頭部または体全体を形成し、かつ、前記表示部は前記生物の顔部分を

表示することにより、前記ハウジングと前記表示部により、前記生物の頭部または体全体を完成して表現することの特徴とするので、本発明によれば、生物の頭部または体全体の表現をハウジングで対応し、一方、生物の頭部または体全体の中心となるべき顔部分を表示部により表現することができるため、その結果、表示部は比較的小さなもので足り、シミュレーション装置の価格を低く抑えることができる。

## 【0006】

10 【実施例】以下、本発明に係るシミュレーション装置を各図面に基づいて順次説明する。図1は、本発明に係るシミュレーション装置の第1の実施例である。同図において、シミュレーション装置1は、シミュレーション装置1の全体を形成するハウジング11と、生物の顔部分を表示する液晶モニタ2と、シミュレーション装置1を操作するための操作部3と、シミュレーション装置1全体をリセットするためのリセット部10とにより構成されている。なお、第1の実施例において、ハウジング11は携帯可能な大きさであり、また、形状は箱形である。

20 【0007】図2は、本発明に係るシミュレーション装置の第2の実施例である。第2の実施例は、第1の実施例と同様に、シミュレーション装置1は、シミュレーション装置1の全体を形成するハウジング11と、生物の顔部分を表示する液晶モニタ2と、シミュレーション装置1を操作するための操作部3と、シミュレーション装置1全体をリセットするためのリセット部10とにより構成されている。なお、第2の実施例においては、ハウジング11は携帯可能な大きさであるが、生物の頭部を形成しており、例えば、耳12が設けられており、また、ヒゲ13がプリントされている。

30 【0008】図3乃至図5は図1及び図2で説明した液晶モニタ2の説明図である。図3乃至図5を観察することにより容易に推測できるように、液晶モニタ2には、生物の顔部分が表示されている。すなわち、液晶モニタ2には、顔における必要最小限の構成要素である目、鼻、口等が表示されており、各構成要件の形状若しくは表示位置が変化することにより、生物の表情の変化を作り出している。例えば、図3は、生物が微笑んでいる表情を表示しており、また、図4は、生物の苦痛を表示しており、さらに、図5は生物の怒りを表示している。

40 【0009】図6は、本発明に係るシミュレーション装置1のブロック図である。シミュレーション装置1は、図1及び図2で説明した構成要素の他に、CPU4、PPU5、ROM6、RAM7、タイマ8及びバス11により構成されている。CPU4は、シミュレーション装置1を統括・管理する。PPU5は、液晶モニタ2に表示される映像を生成する。ROM6は、CPU4がシミュレーション装置1を統括・管理するのに必要な動作プログラム等を格納する。RAM7は、CPU4がシミュ

レーション装置1においてシミュレーションを行うのに必要な各種データを格納する。タイマ8は、現在時刻を算出し、そして、算出された現在時刻は液晶モニタ2に表示される。バス11は、上記説明した各構成要素を電気的に結線する。

【0010】図9は、図6におけるROM6の構成図である。ROM6は、表情データ格納エリア61及び動作プログラム格納エリア62により構成される。表情データ格納エリア61には、図3乃至図5で説明したような、液晶モニタ2に表示される生物の顔部分に関する複数の表情データが格納されており、各表情データは一つの表情に対応する。また、動作プログラム格納エリア62には、CPU4がシミュレーション装置1を統括・管理するのに必要な動作プログラム等が格納されている。

【0011】図10は、図6におけるRAM7の構成図である。RAM7は、トイレバロメータ71及び空腹バロメータ72により構成される。トイレバロメータ71は、液晶モニタ2に表示される生物のトイレに行く頻度をバロメータとしてデータ化している。トイレバロメータ71は0から始まり、Tを最高とする。そして、タイマ8により時間が経過する毎に、その値がインクリメントされ、最終的にTに到達すると、液晶モニタ2に表示される生物は、トイレに行きたいという意味を有するという設定にする。一方、空腹バロメータ72は、液晶モニタ2に表示される生物の空腹度をバロメータとしてデータ化している。空腹バロメータ72は0から始まり、Kを最高とする。そして、タイマ8により時間が経過する毎に、その値がインクリメントされ、最終的にKに到達すると、液晶モニタ2に表示される生物は、食事をしたという意味を有するという設定にする。

【0012】図7は、本発明に係るシミュレーション装置1の動作図である。まず、図示しない絶縁テープを抜き取る等の作業を行うことによりシミュレーション装置1は通電状態となる(ステップ7-1)。次に、リセット部10を押すことにより、シミュレーション装置1全体を初期化する(ステップ7-2)。そして、以上の動作が終了すると、シミュレーション装置1は、シミュレーションモードに移行する(ステップ7-3)。

【0013】図8は、図7で説明したシミュレーションモードの動作図である。シミュレーションモードを開始した段階では、RAM7は図7のステップ7-2においてシミュレーション装置1をリセットした直後であるので、トイレバロメータ71及び空腹バロメータ72共にデータは0であるため、ROM6の表情データ格納エリア61から図3に示す表情データが読出され、液晶モニタ2に表示される(ステップ8-1)。タイマ8により時間が経過すると共に、トイレバロメータ71と空腹バロメータ72は順次インクリメントされて行き(ステップ8-2)、その都度、CPU1はその値を参照する(ステップ8-3)。そして、所定時間が経過し、例え

ば、トイレバロメータ71が値Tに到達したとする(ステップ8-4)。この場合、液晶モニタ2に表示される生物の表情が切り替わり、CPU4の制御のもと、表情データ格納エリア61から図4に示す表情データが読出され、液晶モニタ2に表示される(ステップ8-5)。この時、ユーザが操作部3により、トイレに行かせる旨の操作を行えば(ステップ8-6)、トイレバロメータ71の値はリセットされ(ステップ8-7)、液晶モニタ2に表示される生物の表情は図3に示すものに切り替わる(ステップ8-1)。

【0014】

【効果】以上説明したように、生物を飼育または育成するシミュレーション装置において、前記シミュレーション装置を形成するハウジングと、前記シミュレーション装置に設けられた表示部とを有し、前記ハウジングは前記生物の頭部または体全体を形成し、かつ、前記表示部は前記生物の顔部分を表示することにより、前記ハウジングと前記表示部により、前記生物の頭部または体全体を完成して表現することを特徴とするので、本発明によれば、生物の頭部または体全体の表現をハウジングで対応し、一方、生物の頭部または体全体の中心となるべき顔部分を表示部により表現することができるため、その結果、表示部は比較的小さなもので足り、シミュレーション装置の価格を低く押さえることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るシミュレーション装置の外観図である。

【図2】本発明に係るシミュレーション装置の外観図である。

【図3】液晶モニタの説明図である。

【図4】液晶モニタの説明図である。

【図5】液晶モニタの説明図である。

【図6】本発明に係るシミュレーション装置のブロック図である。

【図7】本発明に係るシミュレーション装置の動作図である。

【図8】本発明に係るシミュレーション装置の動作図である。

【図9】ROMの説明図である。

【図10】RAMの説明図である。

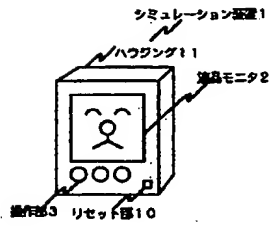
【符号の説明】

1	シミュレーション装置
2	液晶モニタ
3	操作部
4	CPU
5	PPU
6	ROM
7	RAM
8	タイマ
10	リセット部

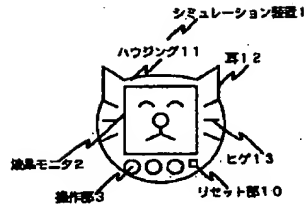
11 ハウジング  
12 耳

13 ヒゲ

【図1】



【図2】



【図3】



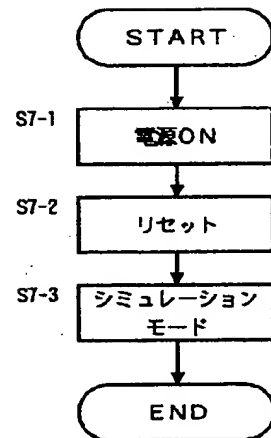
【図4】



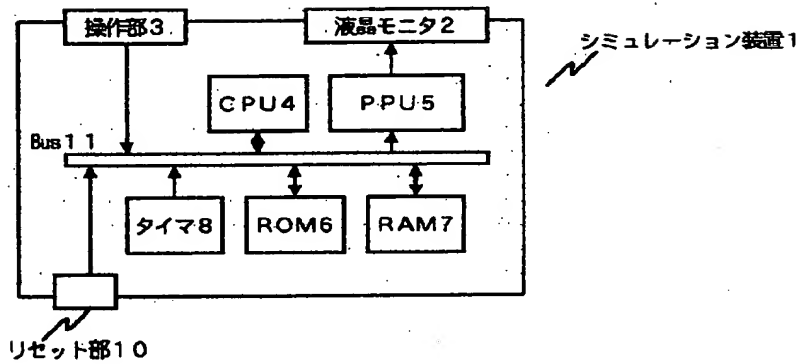
【図5】



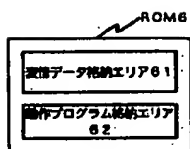
【図7】



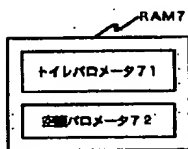
【図6】



【図9】



【図10】



【図8】

